

2022年度

韓国留学報告書

実習先：キョンヒ大学

実習期間：9月25日～2月27日

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21019106
氏名：藤田萌々子

目次

1. 留学先及び留学期間	3
2. 留学先概要	3
3. 留学目的	3
4. 留学内容	3
4-1. 留学のスケジュール	4
4-2. 留学の詳細	5.6
5. 当初目的・目標への達成度	6
6. 反省点・課題	6
7. 謝辞	6

付録

留学日誌と文化について	7
-------------	---

1. 留学先及び実習期間

留学先：キョンヒ大学

実習期間：令和4年9月25日(木)～2月27日(木)

2. 留学先概要

(1) 大学について

キョンヒ大学校は、韓国語教育に力を入れていて、「大韓民国政府招請外国人奨学生プログラム」の韓国語研修機関として選定されている。毎年40カ国から来る1200人以上の留学生が韓国語を勉強している。留学生に対してキョンヒ大学生が韓国語の学習や韓国での生活を手助けするという『トウミ制度』がある。

(2) 大学で行われている教育について

学期が始まる前にクラス分けテストを行い、その結果によって3つのレベルに分けられ、授業を受けた。日本人以外にも韓国、中国、フランス、アメリカなどの留学生も同じ授業を受けていた。

3. 留学目的

今回の留学における個人的な目的は、英語力の向上・異文化理解を深めることである。日本で英語の勉強をしていると文法やリスニングなどが中心であり、TOEICのスコアを伸ばすための授業がほとんどである。そのため、スピーキング力を向上させることが難しい。英語しか通じない環境に行くことで、スピーキング力・リスニング力を効率的に向上できる。ネイティブの先生からの指導を受ければ、正しい発音も身につくと思う。また、海外で実際に生活することによってアメリカの文化を肌で感じ体験できる。様々な国の人と関わることで日本には学べないことが沢山ある。そして、世界の人々にも日本文化の魅力を発信していくことも今回の留学の目的としていた。

4. 留学内容

以下から留学内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1. 留学スケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日	内容
9	25	到着、コロナ検査・入寮
	27	秋学期 開始
	29	先生方と会食

10	3	学校休み
	6	先輩と会食
	8	漢江花火大会
	10	学校休み
	11	外国人登録申請
	15	梨泰院世界祭り
	17	秋学期 トウミとあう
	25	卒業論文 中間発表
11	21	外国人登録指紋認証
12	5 6	秋学期 期末試験
	9 ~ 14	1週間休み (11~13日 濟州島旅行)
12	15	冬学期 開始
	28	冬学期 トウミとあう
1	10	卒業論文 最終発表会
	14 15	釜山旅行
	23 24	正月
2	21 22	冬学期
	24	学校最終日
2	27	出国・帰国

時間割

授業は、9時10分から13時までの4時間である。授業1時間は、50分で、間に10分休憩がある。中級2は、文法が必ずあり、文法2時間と読み書き/聞き取り会話が2時間だった。高級1は、文法をしない日もあり、代わりに読み書き/聞き取り会話が4時間の時もあった。

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 限	9:10 ~	문법	문법	문법	문법	문법

	10:00					
2 限	10:10 ～ 11:00	문법	문법	문법	문법	문법
3 限	11:10 ～ 12:00	읽고 쓰기	듣고 말하기	읽고 쓰기	듣고 말하기	읽고 쓰기
4 限	12:10 ～ 13:00	읽고 쓰기	듣고 말하기	읽고 쓰기	듣고 말하기	읽고 쓰기
			(14:10 ~ 16:00) 세미나		(15:20 ~ 17:20) 문화 수업	

4-2. 留学の詳細

<授業概要>

・ 문법

教科書に沿って、文法についての説明を受けた後、3種類の文法を解いた。文法を使って、文を作ったり、クラスの友達と会話をしたりする。

・ 읽고 쓰기

읽기는、自分で文をすべて読んだ後に、先生の解説を聞きながら文を詳しくみる。文を理解した後に、問題を解く。쓰기는、읽기와関連した内容で 300 字から 400 字の文章を書き、先生から添削してもらう。

・ 듣고 말하기

듣기는、初めに関連する単語や表現を学び、短い듣기를聞いて、内容理解する。そのあと、長い듣기를聞き、問題と解く。말하기は、学んだ文法を使ってペアと会話文を作り、発表する。

・ 세미나

韓国の観光地・文化・社会問題をテーマに 2 人 1 組のペアで発表を行う。発表は PPT と準備し、他のペアが発表している時は、感想と質問をメモしながら聞く。発表後は、先生とほかの人からのフィードバックを受ける。

・ 문화 수업

秋学期は、韓国旅行のオンライン授業をした。各場所の有名な食べ物や名所を学びながら、その場所の動画をみた。

冬学期は、韓国ドラマのオンライン授業をした。先生が選んだドラマを見ながら、授業では学べない表現を学んだ。自分の好きなドラマについての発表もした。授業前には、1週間何をしたのかなどのフリートーク時間もあった。

5. 当初目的・目標への達成度

この留学において韓国語力の向上が目的だった。留學生活しながら、韓国語が自然に話せるようになるほどスピーキング力が向上した。一番向上したと感じたのは、リスニング力だ。クラスで他国の子と韓国語を話すことで、韓国人が話す韓国語だけでなく、いろいろな人の発音で韓国語を聞き取れるようになった。

6. 反省点・課題

TOPIC 試験を受験しなかったことが反省点だ。韓国で生活しながら、生活に必要な単語や表現は身についたが、ニュースを見ながら内容を理解することはまだ難しく、難しい単語や表現を理解することが今後の課題だと感じた。そのためにも、試験を受け、自分がどのくらい理解しているのか確認することが必要だと思った。よって、今後実施される TOPIC 試験に挑戦しようと思う。

7. 謝辞

コロナという難しい環境の中でしたが、留学をして改めて留学をしてよかったと感じました。今回お世話になったキョンヒ大学の先生方、留学にいけるように調整して下さった新潟国際情報大学の先生方に本当に感謝しています。また、心配しながらも背中を押してくれた両親に感謝しています。この留学は、自分の人生の大事な経験になりました。これからも、留学経験を活かし、広い視野と考えで多くの経験を積んでいきたいです。

付録：留学日誌

学期の間に一週間の休みがあったので、済州島に行った。済州島の有名なミカン狩りをしたり、黒豚サムギョブサルを食べたりした。黒豚は普通のサムギョブサルとは違う食感があり、おいしかった。また、釜山旅行にも行った。釜山では、市場に行き、釜山の人の方言を実際に聞くことができた。

韓国の文化について

- ・寮は2人で1室、キッチン・シャワー・トイレ・洗濯機など生活に必要な器具は部屋にそろっていた。
- ・日本のアニメが好きな韓国人が多い

- ・日本食店が多く、人気も高い
- ・韓国人は寒くてもアイスのアメリカーノを飲む
- ・ご飯を食べた後に必ずカフェに行く
- ・ご飯をみんなで分けて食べる文化がある

